



広報

ごよさがわら

発行所

五所川原市役所

392号

昭和52年1月15日

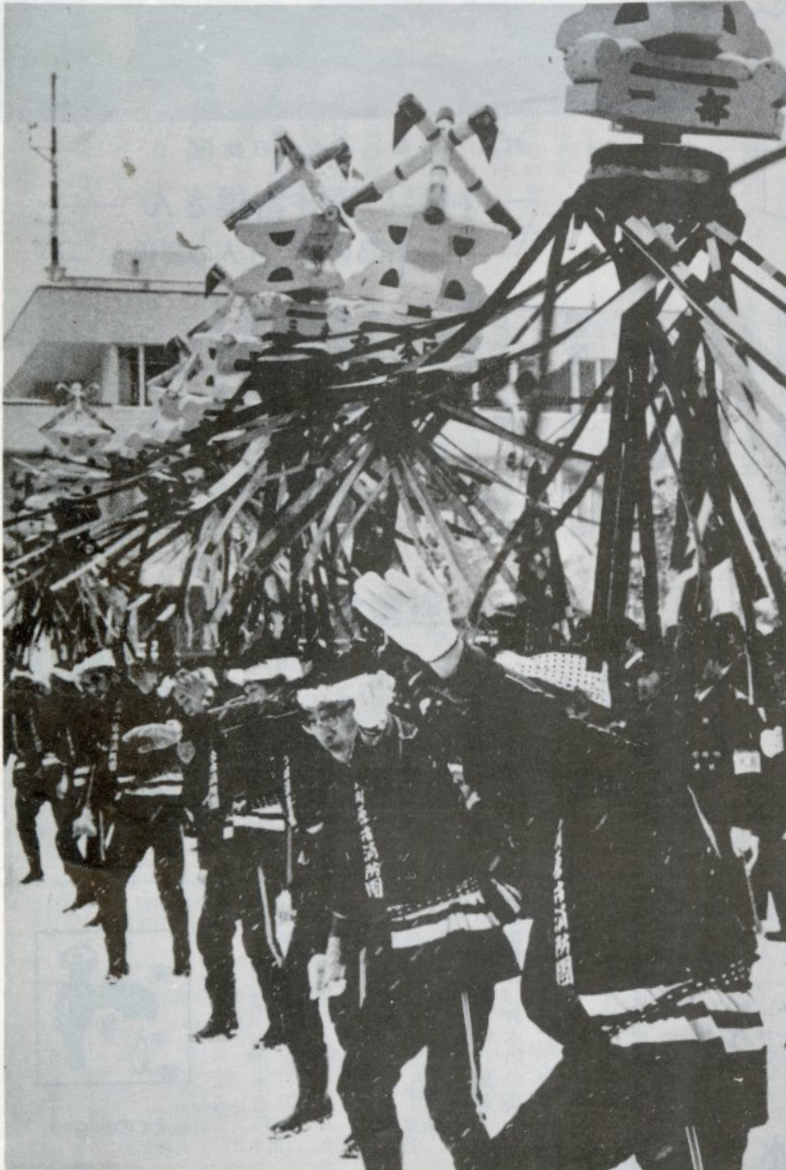
印刷 日刊民友新聞社

市の人口
52,180人

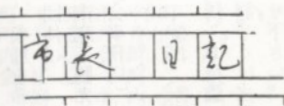
男 25,229人
女 26,951人

世帯数 13,976

(昭和51年12月1日現在)住民基本台帳から



量六十六cm
二十八cmで、なお強い季節
風を伴って衰える気配がな



一月六日
木 猛吹雪
元旦以来の
降雪が続き、
特に昨夜来の
猛吹雪で、五
日までの積雪
生活路線と歩道の確保につ
いて万全を期するよう指示
猛吹雪について「地域市
民集会」三好会場に到着。
要望事項は、語らいの家、

ひまわり
雪

防虫駆除剤の支給、処理場
の騒音、軍人恩給、納貯補
助金、野犬対策、トレンチ
ヤーの貸付、農業者年金、
家庭学級、市道編入、農道、
市道の整備、舗装、小路の
除排雪等吹雪の中ではあつ
たが熱気のある意見の交換
があった。

二年間にわたる道路愛護運
動と環境整備運動に対して
市民奉仕参加者五二、〇〇
〇人、協力車輛二二、〇〇
〇台で、四二、〇〇〇³m³(
約一億円)の砕石を敷き路
盤を造つたので今後の舗装
事業が相当促進されること
を説明すると同時に、県所
管の道路関係費はこの十年
間に二億二千四百万円であ
つて、単位面積当り(一
2km²)約一千三百三十万円、

寒空に勇み肩

市消防団の出初め式は、1月5日、10分団、約750人の団員
が参加して行なわれました。(写真は市庁舎前でのマトイ撮り)

直ちにアラスカ
の土工組合総会へ
出席、終って午後
の中川会場へと急
ぐ。

事業は、福祉、教
育、産業、都市環
境づくりの基本的
柱はもちろんだが、
特に農業関係予算
は約八億四千万円
と前年度の倍以上
が見込まれ、また、
教育文化関係予算
も体育館、図書館
の完成、重要文化
財の確保とこれま
た相当伸びること
が予想されること
と、今秋の「あす
なる国体」を全市
的な市民運動によ
って成功させるよ
うお願い申し上げ
会場を辞す。

市民一人当たり四万七千円が
投入され、いずれも県内八
市では最高の実績であり、
最低の市と比較ではいずれ
も四倍となっていること、
また都市計画事業において
も五十年決算では三億二
千万余円で新市を比較する
と最高であり、最低市のな
んと五十倍の実績を示して
おり、街づくりの進んでい
る市の実態を申し上げた。
最後に五十二年度の重点

五十一年度の「五所川原雪まつり」は、二月十一日(金)十二日(土)の両日市庁舎前「お祭り広場」を主会場に開かれます。

雪まつりは、「雪上大カタル大会」、「ずぐりまわし大会」(以上二月十一日午後一時からお祭り広場)「たこあげ大会」(二月十一日午後一時から北斗グラウンド)、「歌謡、民謡、

「五所川原雪まつり」 二月十一、十二の両日

手踊大会(二月十二日午前十時から市民文化会館)がそれぞれ行なわれます。

参加を希望される個人、団体は、一月三十一日まで市商工観光課内「市観光協会事務局」へお申し込み下さい。

なお、各種目の参加資格チーム構成、競技方法など詳しくは当課にお問い合わせ下さい。



村長(右端)と4人の総代

村長に笠井富雄さん

「野鳥の村」4人の総代も

市が、今春飯詰味噌ケ沢に開村する「野鳥の村」の村長に下岩崎の笠井富雄さん(五〇)が決まり、このほど四人の総代とともに佐々木市長から辞令が交付されました。

集団移転のあと廃村になっていた味噌ケ沢は、梵珠山系の裾野に囲まれた沼池や小川、雑木林の自然環境に恵まれた野鳥や野草の宝庫といわれています。

「野鳥の村」は、こうした自然の環境を保護し、野鳥や野草の生きた観察をとおして自然に親しんでもら

おうと開村するものです。

市では、味噌ケ沢一帯約二十ヘクタールを村に指定すべく、廃屋となっている民家一棟を取得し、子供たちが宿泊しながら観察できる双眼鏡や動植物図鑑を備えることにしており、村長が先頭になって村の管理や村内の案内にあたります。

総代は、下岩崎の山口十(四六)、山口昭悦さん(四四)、山口正高さん(四〇)、山口セ子さん(四六)のみなさんです。のよろしく願います。

「雪像コンクール」も

▽作品 題材、大きさは自由です。

▽製作場所 多くの市民が見やすい場所に

▽お申込み 一月二十五日正午まで、市教委「太陽と雪の課」へ。審査は、二月八日に行ないます。

優秀作品には、各賞を贈ります。詳しくは、当課に

みんなの「健

康教室」

お問い合わせ下さい。

「子宮筋腫と子宮ガン」について

▽とき 一月二十七日(木)午後一時から

▽ところ 産経会館五階

▽主催 北五医師会、五所川原市民保健協議会、西北五RH一友の会

長者森平和公園(墓園)

の広報をこ

市民の皆さんから建設の要望が強かった墓園について、一次分として今春供用を開始する

を始める

の広報をこ

の広報をこ



その 9

この回は、当市水道の原水が清浄水につくりかえられる過程について述べます。

市の水道水源は、飯詰ダムと岩木川の二カ所です。飯詰ダムから取り入れられた水は飯詰浄水場に、岩木川の水は元町浄水場にそれぞれポンプ場を通じて送られてきます。

浄水場は、原水を飲み水につくりかえる工場であり浄水場に送られた水は、まず沈でん池に入り、汚れていた水に薬品を加えて機械でかきまぜ大きなゴミ等を沈め、上部のすんだきれいな水をつぎのろ過池に送ります。

ろ過池では、沈でん池でとれなかった小さなゴミは、ろ過砂、砂利、玉石を通りぬけると、ほとんどきれいな水になります。

このままでも飲めるくらいきれいになった水に



(水道課)

原水から浄水まで

さらに塩素という薬品を入れて、完全に消毒した後、安心して使えるようになった水は、水道の水として配水池からみなさんの家庭や、学校、病院など、市内に配水されています。

このように、原水として浄水場に取り入れた水は、年中無休の施設の稼働と、浄水場に働く人達の昼夜にわたる監視をうけて清浄な水につくりかえられています。

また、原水が清浄水となつて配水池から送り出されるまで、概ね九時間の順送りとなっていますが、じや口から出る水は以上のようにに段々の過程でつくられたもので、いわば高価な加工品ということができ、みなさんで大切に使用することを心がけていただきたいと思います。

歳末たすけあい ご協力ありがとう

「皆さんで明るいお正月を」昨年十二月に行なわれた市の「歳末たすけあい」に皆さんのご協力により六十四件、百八十三万九千五百五十四円の義援金と八件、九百三十六点の義援品が寄せられました。

このお金と物品は、生活に困っている家庭や恵まれない方、施設に入っている子供たちにそれぞれ配分され、大変喜ばれました。暖かいご協力にお礼を申し上げます。

▽義援金預託者

下平井町町内会、寺町岩木町わかき会、大町町内会、鎌谷町町内会、五所川原青年クラブ、相互タクシー、上平井町町内会、外崎清七、五所川原幼稚園、第一千鳥

「金正堂」で掛 時計を寄贈

有限会社「金正堂」本店



町内会、弥生町町内会、中平井町町内会、五所川原朝市の会、本町町内会、市教育委員会、島田、丸友デパート、桜庭英三、末広新宮町町内会、新宮第一町内会、西北五遊技業協同組合、幾島町町内会、ちどり舞踊会、大和山五所川原地区青年会、柏原町町内会、川端町町内会、平和町町内会、葛西造花店、新町町内会、敷島町町内会、小曲町町内会、東雲町町内会、布屋町町内会、五所川原ロータリークラブ、大町ひまわり会、新宮県営住宅、工藤泰弘、フアイブA平山英子、泰子、鶴谷ヤナ、栄町町内会、田町町内会、善意銀行、NHK、松島町四丁目町内会、対馬正行、白生会胃腸病院、

「くるみ園」に 慰問団続々

(三上行政代表取締役)はこのほど店舗新築落成を記念し、市の教育文化等の施設に役立て下さいと、掛時計五十個を寄贈しました。

市立養護老人ホーム「くるみ園」に、昨年末次の団体、施設がおとしよりを慰問し、励ましました。

▽日本青年会議所(佐々

▽義援品預託者

白取栄二、福岡博志、中三デパート、みちのく銀行、五所川原本町支店、五所川原ロータリークラブ、五所川原商工会議所、五所川原ライオンズクラブ、松島町六丁目婦人部(敬称略)

木さんほか八人)もちつきをし慰問▽昭和パールの会(藤田久さんほか七人)日用品を持参し慰問▽ガールスカウト(毛内金子さんほか十五人)演芸会を開き慰問▽ひまわり児童館もちつきをし慰問▽さくら保育園(六十人)演芸会を開き慰問▽津軽りんご育成振興会りんごを持参し慰問

▽義援品預託者

五所川原第一中学校、五所川原ライオンズクラブ



預託する平和町子供会のみなさん

『農業短期大学講座』

- ▶とき 1月31日～2月4日(5日間)
- ▶ところ 市内毘沙門、広域新農業センター(電話⑦2104番)
- ▶テキスト 無料です(昼食代は1食分につき100円)
- ▶交通 (津鉄)五所川原発8時53分・毘沙門発3時53分ほか。《車》飯詰・毘沙門経由可能。《マイクロバス》市庁舎前9時30分発・センター発3時。講座内容は次のとおりです。

日 時	10:00～12:00	12:30～14:30
1月31日(月)	上手な空地利用の野菜作りと特産野菜を育てよう! 県主任専門技術員 佐藤忠弘	私のぶどう作り(15年の体験を語る) 篤農家 工藤義雄 助言者 主任普及員 楠美拓治
2月1日(火)	りんご品種の特長と選び方 県りんご試験場 品種改良科長 山田三智徳	りんごの防除暦は大きく変わった 県りんご試験場 病理部長 工藤祐基
2月2日(水)	稲作と効率的な機械利用 県農業試験場 機械科長 八木橋六二郎	寒冷地稲作とのとくみ方 県農業試験場 場長 島田晃雄
2月3日(木)	これだけは知っておきましょう 衣、食、住の常識 県消費生活センター 総括主任 山田玲子	漬け物のいろいろ(お話しと実地) 漬け物研究家 栗林操 助言者 主任普及員 楠美タビ
2月4日(金)	稲、野菜、花の年間作業計画は今から 篤農家 伊藤武雄、松川一男 助言者 五所川原普及所 総括主任 佐野栄三郎 主任普及員 三上参次 *司会 五所川原普及所 所長 山口清智	終 講 式 修了証書授与

生活環境
パトリール本部
住みよい
環境づくり

でんわ
(5)1414

所在地	児 童 館 名	定員
七ツ 館	あじさい児童館	60
毘 沙 門	いくじ児童館	〃
羽の木沢	杉の子児童館	〃
松 の 木	松が丘児童館	〃
下平井町	ひまわり児童館	〃
金 山	かいどう児童館	〃
神 山	つつじが丘児童館	〃
梅 田	梅 泉 児 童 館	〃

市社会福祉協議会では、五十二年度から児童館に入所する児童の申請を受け付けます。

▽受付期間 入所児童を受付 一月十五日～二月まで 就学前の児童です。満三歳以上、児童館名と募集定員は次所内社会福祉協議会、またのとおります。

